

## 2. 対象

- 1) 妊娠経過の正常・異常に関わらず、医師の許可がある
- 2) 本人の同意がある

以上の条件を満たす妊婦を対象とし、当面は原則 2 回とする。その時期としては、妊娠 24 週前後と妊娠 37 週前後とし、それぞれ直前の受診時に医師が助産師担当の可否を確認する。

## 3. 受診料

福岡市の助成券	:	青色	(5040 円、 実費ゼロ)
福岡市で使用できる他市の助成券	:	別紙参照	
福岡市で使用できない他市の助成券	:	6000 円の実費	

## 4. 受診時間

8 : 30 ~ 11 : 30 (4 人 / 日)

## 5. 予約

予約先 : 産婦人科『■■■ 助産師外来』

## 6. 担当助産師の条件

助産師の臨床経験 5 年以上、分娩介助件数 100 件以上の条件を満たし  
当科師長が適切と判断した助産師

## 7. 健診内容

- 1) 問診
- 2) 視診
- 3) 触診
- 4) 計測
- 5) 聴診
- 6) 内診 (適宜)
- 7) 保健指導

### 1) 問診

- ・家族歴、家族構成

当科初診の問診票を参照する。

- ・合併症

妊娠生活への影響の有無について把握し保健指導へつなげる。

- ・既往妊娠分娩歴

今回の妊娠を含めずに数える。

- ・今回の妊娠経過  
時期に応じて妊婦の心理状態（ストレスや不安など）やその変化などを把握する。
- ・生活習慣  
食事、嗜好品、運動、睡眠、清潔、就労、常用薬の有無などを把握し、妊娠経過や胎児の発育状態の予測に役立てる。

## 2) 視診

- ・全身  
体格、姿勢、動作、骨格の状態、栄養状態、意識状態、運動障害の有無、姿勢や歩き方の変化を観察する。
- ・顔面  
表情、顔色、眼瞼結膜の色、口唇色、浮腫の有無などを観察し、心理状態や貧血の可能性、睡眠不足や疲労状態を推測する。
- ・乳房  
乳房の大きさや形、妊娠線の有無、乳頭の大きさや形、乳輪の大きさや着色の有無、モントゴメリー線などを観察し、出産後の母乳育児の情報を得る。
- ・腹部  
腹部の大きさや形、皮膚の着色、妊娠線・発疹の有無、手術痕の状態、浮腫の有無、臍の状態、胎動の状態などを観察する。
- ・下肢  
浮腫・静脈瘤の有無などを観察する。
- ・外陰  
浮腫・静脈瘤・癬痕・着色の有無、膣分泌物の量と性状などを観察する。

## 3) 触診

- ・顔面  
浮腫の有無や程度などを観察する。
- ・乳房  
乳房・乳頭の大きさや形、硬さ、乳輪の伸展性、乳腺の発育状態、初乳圧出の有無などを観察する。
- ・腹部  
腹壁の緊張度、子宮の大きさや形、子宮収縮状態、子宮底の位置、羊水量、胎位、胎向、胎勢、胎児下降部の位置、胎動などレオポルド触診法を用いて把握する。  
補助的診断として、超音波断層装置を用いる。
- ・下肢  
浮腫・静脈瘤の有無や程度などを観察する。

## 4) 計測

- ・全身  
身長、体重、血圧を計測する。
- ・腹部  
子宮底長、腹囲を計測する。

5) 聴診

- ・胎児心拍  
ドップラーを用いて回数、リズムを観察する。

6) 内診

- ・外陰  
会陰の伸展性や浮腫の有無などを観察する。
- ・膣  
膣壁の伸展性、膣くうの広さ、処女膜痕の硬さ、分泌物やその性状などを観察する。
- ・子宮  
子宮頸部の形状・硬さ・長さ、子宮口の開大・位置、胎児下降部の種類・位置を観察する。
- ・骨産道  
仙骨前壁のわん曲の程度、尾骨の可動性、恥骨結合後縁の触知、坐骨きよくの触知、左右の坐骨きよく間距離などを観察する。
- ・その他  
上記以外にも腫瘤の有無、骨盤底筋の硬さ・伸展性などを観察する。

\* 『超音波断層装置』の使用について

- 視診、触診、聴診で診断可能な項目（胎位、胎向、胎児心拍、羊水量）の補助的手段、コミュニケーション・愛着形成を促す手段として使用する。検査開始前に妊婦へ以下の内容を説明し、了解を得てから実施する。
- ・母親が画像を通じて胎児のようすをみてイメージを膨らませ愛着を深めることが目的である。
  - ・医師が行う超音波検査とは異なり、体重や性別を調べ、正常・異常をみることはできない。

7) 保健指導

“外来健診の保健指導”と“母親学級”を以下のように位置付ける

	外来	母親学級
対象	妊婦全員。個別。	希望する妊婦や夫。集団。
目的	妊娠・出産の基本的な知識の提供し 妊娠中の健康維持を維持する。	妊娠中の症状を他の妊婦と共有し、 身体的・心理的・社会的変化を知り、セ ルフケア能力を高める。仲間作りの場。

<目標>

- ・妊婦が、妊娠による生理的・心理・社会的変化への適応ができる
- ・妊婦や家族が、よりよい出産に臨むための分娩準備ができる
- ・妊婦や家族が、新しい家族をむかえるための家庭内の調整ができる

<方法>

- ・各時期の保健指導内容に沿って行う（改訂 保健指導項目参照）
- ・助産師外来パンフレットや副読本を活用する
- ・個別に対応しセルフケア方法を考える
- ・必要な場合は助産師外来の妊婦保健指導（¥2100）を案内する

<妊娠週数に応じた保健指導項目>

時期・目標	保健指導	説明ポイント
<p>初診 (通常健診)</p> <p>定期健診について理解できる</p>	<p>『妊婦健診のご案内』 → お渡し</p> <p>『当科パンフレット』 → お渡し</p> <p>連絡先確認 →</p> <p>分娩予定日 →</p> <p>産科医療補償制度 →</p> <p>つわりの援助 →</p> <p>切迫流産の徴候 →</p>	<p>次回からの手順</p> <p>母子健康手帳のもらい方 定期健診と方法 助産師外来システム</p> <p>連絡先は当院の初診の際に受付で記入済みのため、聞き取り方に注意</p> <p>カルテ・看護データベースへ転記</p> <p>別紙で説明</p> <p>食事のとり方・脱水予防</p> <p>異常症状時の電話連絡</p>
<p>妊娠 11～15 週 (通常健診)</p> <p>妊娠中の過ごし方と異常の予防について理解できる</p>	<p>母子手帳・助成券・副読本</p> <p>飲酒・喫煙</p> <p>妊娠中の服薬</p> <p>妊娠中の体重管理</p> <p>口腔衛生</p>	<p>活用をすすめる</p> <p>当科パンフレットの参照もすすめる</p>
<p>妊娠 23～24 週</p> <p><b>助産師外来</b></p> <p>妊娠中を快適に過ごし、異常の早期発見について理解できる</p>	<p>胎動の時期・特徴 →</p> <p>母乳栄養と乳頭手入れ →</p> <p>腹帯</p> <p>妊婦体操</p> <p>貧血予防</p> <p>妊娠高血圧症候群</p> <p>不快症状の緩和</p> <p>母子メンタルヘルスクリニックの紹介</p> <p>切迫早産の徴候</p>	<p>特徴を説明</p> <p>正常なら 36 週からマッサージ開始</p> <p>当科パンフレットを使用</p>

<p>妊娠 30 週 (通常健診) 分娩に向け心身の準備ができる</p>	<p>入院物品の準備</p> <p>『九大病院入院のご案内』 お渡し</p> <p>『入院誓約書』 お渡し</p>	<p>→パンフレットを参照し準備開始することについて</p> <p>→必ず目を通し入院の際の持参について</p> <p>→記入注意点のメモを添付</p>
<p>妊娠 36～37 週</p> <p><b>助産師外来</b></p> <p>妊娠経過と母子の健康状態を確認する。分娩に向けた心身の準備が整う</p>	<p>当院の分娩方針</p> <p>分娩経過とリラックス法 入院の時期と方法 入院物品の準備確認</p> <p>バースプランの確認</p> <p>育児の準備 乳頭マッサージ</p> <p>産後の支援者 里帰りの場合実家の住所 母親学級受講確認</p>	<p>→ 当院の出産方法、会陰切開、立ち合いの原則 *医師と申し合わせる</p> <p>→ パンフレットを使用</p> <p>当院の特性を考え、現在記入用紙は用いない</p> <p>→ 妊娠や出産、母乳栄養などの思いや考えをバースプランとして看護データベースへ記録</p> <p>→ 児の栄養や抱っこ・授乳・搾乳演習も含む</p> <p>→ 聞き取って看護データベースへ記録</p>

## 8. 記録

### 1) 母子健康手帳

健診日、妊娠週数、子宮底長、腹囲、浮腫、尿蛋白、尿糖、体重

コメント欄 : 胎位や注意事項など

サイン : 助産師外来 押印

### 2) カルテ

カルテ : SOAP で記録

尿検査結果 : 検査報告書からの添付

各計測値 : 助産録貼付け

保健指導 : 定型文貼付け

看護 DB : 健康知覚-管理の『バースプラン』  
役割-関係の『育児支援』を記録

<例>

S	胎動よく感じる 他はとくにかわらない
O	<p>【検体検査結果（単一）】</p> <p>検体提出日： 2009/5/1 14:00</p> <p>採取日： 2009/5/1 14:00</p> <p>検体No： 000250052200025</p> <p>蛋白 -</p> <p>ブドウ糖 -</p> <p>潜血 -</p>
	* 検査報告書から添付
	* 助産録 『妊娠経過図』貼付け（血圧、体重、子宮底長） 腹囲、浮腫、胎児心拍数、胎位は今回の値のみ残し他は削除
	子宮収縮は多くても一時間に2～3回の子宮収縮がたまにある程度 血圧安静時 140/90（再検）136/80
A	#妊娠 37週 3日 分娩開始徴候なし 血圧上昇なし
P	血圧医師〇〇へ報告し指示にて次回1週間後健診 EP)・PIH症状と異常時の連絡方法 ・保健指導 (* 各時期の定型文を貼付け)
free	同伴者など

## 9. 医師への報告基準

正常から逸脱と判断した場合にはすみやかに医師へ報告し診察を要請する。

データ・情報	アセスメント	特記事項
① 血圧  収縮期 140mmHg 以上 拡張期 90mmHg 以上	PIH 診断基準 収縮期血圧 軽症： $\geq 140$ 、 $< 160$ mmHg 重症： $\geq 160$ mmHg 拡張期血圧 軽症： $\geq 90$ 、 $< 110$ mmHg 重症： $\geq 110$ mmHg	
② 検尿  (+) 以上	重症度判定は 24 時間蓄尿定量が原則 軽症： $\geq 300$ mg/日、 $< 2$ g/日 重症： $\geq 2$ g/日 随時尿（新鮮尿）では連続して 3+判定は重症とみなされている	
③ 尿糖  (+) 以上	家族歴や尿ケトン 2 回以上の陽性か	
④ 浮腫  (2+) 以上 かつ 体重増加 500g/週以上	PIH 診断基準からは除外されている  1+：2mm程度のへこみ、すぐに消失 2+：4mm程度のへこみ、10～15 秒で消失 3+：6mm程度のへこみ、はっきりとした深さがあり 1 分くらい消失しない場合もある。腫脹が著しい。3+以上は顔や手の浮腫を伴う事も多い。 4+：8mm程度のへこみ、非常に深く 2～5 分続き部位の変形がひどい	
⑤ 子宮底長  正常範囲を逸脱	子宮底長の基準の統一見解はないが、一般的な基準として、妊娠 20～34 週では妊娠週数-5～6cm 程度である報告や、妊娠週数-3cm 程度である報告があり、計測者、妊婦の体型、膀胱充満度、人種によって影響を受ける。	カルテ「助産録」の「妊娠経過図」の帯は、医学書院発行『母性看護過程』を参考とし、妊娠週数-5cm とした

<p>⑥子宮収縮</p> <p>生理的範囲を逸脱</p> <p>必要に応じてCTGモニターを装着し医師へ報告する</p>	<p>妊娠 34 週以前の生理的範囲内の子宮収縮は、1～2 回／時、5～25mmHg といわれているが、早産につながる危険な子宮収縮の頻度は明らかにはなっていない。子宮頸管長や出血の有無、既往歴、生活の中での子宮収縮のタイミングと痛みの部位や程度などの情報とも合わせて子宮収縮の臨床的意義を判断する。</p> <p>よく聞き取りアセスメントする。例えば、一日のうち、たまに張ることを「張っている」という人もいる。</p>	
<p>⑦性器出血</p>	<p>前期では、切迫早産徴候、常位胎盤早期剥離を鑑別するために観察する。</p> <p>後期では、胎動や子宮収縮程度を観察し、産徴か否か、分娩開始や常位胎盤早期剥離徴候の有無について慎重に聞き取り観察する。</p>	
<p>⑧破水や感染を疑う帯下の異常</p>		
<p>⑨胎児心拍数異常</p> <p>不整脈</p> <p>徐脈 110bpm／分未満</p> <p>頻脈 160bpm／分以上</p>		
<p>⑩医師による検査や処方が必要と考えられる場合</p>		
<p>⑪その他、医師の診察が必要と判断した場合</p>		
<p>⑫胎位異常</p>	<p>後期の健診で胎位が頭位以外の場合</p>	



## 助産師外来における超音波断層装置の使用に関する取り決め

現在、超音波断層装置の使用の普及により、妊婦健診時に超音波画像による胎児の観察を楽しみにしている妊婦は多い。そのため、助産師外来においてもコミュニケーションの手段として超音波断層装置を利用する。機器の使用開始にあたり以下を取り決める。

### <当院助産師外来における超音波断層装置の使用>

視診、触診、聴診で診断可能な項目（胎位、胎向、胎児心拍、羊水量）の補助的手段、コミュニケーション・愛着形成（胎児の動きや顔をみる）を促す手段として使用する。使用開始前に妊婦へ以下の内容を説明し、了解を得てから実施する。

「母親が画像を通じて胎児のようすをみて、イメージを膨らませ愛着を深めることが目的である。医師が行う超音波検査とは異なり、体重や性別を調べ、正常・異常をみることはできない。」

妊婦健診を担当する助産師は、病棟で行っている超音波研修を受け、医師の評価を受けた後、妊婦健診で超音波装置を使用する。

H21. 9.17

### 患者説明用イメージ

#### ～ 助産師外来 超音波装置の使用について ～

- ★ 助産師外来で行う超音波は、赤ちゃんの向きやお顔など、お腹の中のようすを画像を通してみることで、赤ちゃんを想像したり、イメージを膨らませることを目的としています
- ★ 医師の超音波検査と異なり、異常を発見する検査ではなく、予想体重や性別を調べお伝えすることはできません。

# 妊婦健診のご案内

！ 必ずお読みください

## 母子健康手帳について

住所地が福岡市以外の方は、妊娠証明書を発行しますので、市町村役場で手続きをして母子手帳をお受け取りください。お受け取りの後、「子の保護者」「妊婦の健康状態等」「妊婦の職業と環境」の欄をご記入ください。なお、健診の際は、母子手帳を必ずお持ちください。

## 当院における定期健診（妊婦健診）について

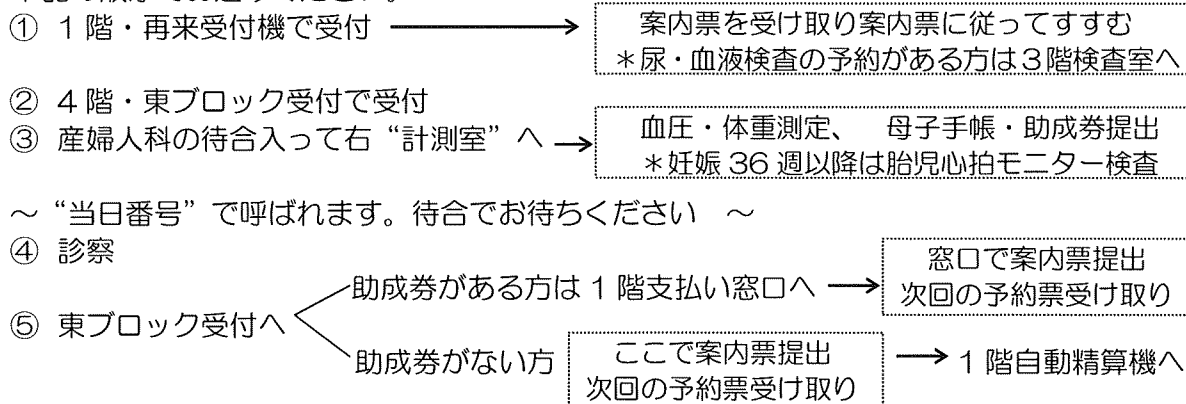
当院では原則として、医師と助産師が共同で健診を行います（健診間隔は母子手帳参）。妊娠 24 週と 37 週前後の計 2 回を助産師が担当します。経過によって、健診担当者や時期が異なることもあります。

この他、ご希望があれば妊婦保健指導（¥2100）を受けることができます。



## 健診の流れ

下記の順序でお進みください。



## 健診料と助成券

妊婦健診は私費診療となります。また、当院は一律料金ではなく、診察料金と実施された検査の料金を合計した金額になりますので、助成券に加え自己負担する場合があります。

★助成券は、ご使用前に「妊婦氏名」「生年月日」「住所」を必ずご記入ください。

★助成券は、市町村により回数や対象となる検査が異なります。また、市町村がかわると、使用できない場合もあります。

★助成券をお忘れの場合、病院では払い戻しが出来ませんのでご注意ください。

## 妊婦健診で行う検査

診察、血圧、体重、尿（たんぱく尿、尿糖）、むくみ、腹囲、子宮の長さ、胎児心拍これらに加え

★医師の健診：超音波検査（胎児発育等）

★助産師外来：各時期に応じた保健指導

★その他

妊娠初期 (12 週頃)	血液型 (ABO 式、Rh 型) 不規則抗体、 B型肝炎、C型肝炎、梅毒、HTLV-1、HIV、風疹、貧血
妊娠中期 (30 週前・後)	貧血検査 (必要な方だけ)
妊娠後期 (35・36 週頃)	膣の細菌検査 (B群溶血性連鎖球菌) 胎児心拍モニター検査 (36 週以降毎回)

\*お母さんの感染症は赤ちゃんへ影響を及ぼすこともあるので、妊娠中に感染症の検査を行います。

☆HTLV-1 : 白血病の原因となるウィルスで、血液や母乳を介して赤ちゃんに感染することがあります。陽性の方には出産後の母乳哺育についてご相談します。

☆膣の細菌検査 : B群溶血性連鎖球菌は女性の膣の中に比較的よくみられる細菌です。産道感染すると赤ちゃんが髄膜炎や肺炎をおこす心配があるのでお産のときに抗生剤を投与し感染を防ぎます。

☆胎児心拍モニター : 妊娠 36 週以降の方は、お腹に 20~40 分器具をあて、赤ちゃんの心拍数の変化と子宮収縮の状態を調べる検査を行います。妊娠 36 週以前の方でも、必要に応じてこの検査を行います。

## 産科医療補償制度

当院は「産科医療補償制度」加入病院です。別紙「産科医療補償制度のご案内」をご参照ください。

## 入院費用

分娩介助料（当院の入院案内参照）に入院中の診療・ケア等が加算されます。

## 学生実習

当院は大学病院のため、学生実習が随時行われています。

## 異常な症状時の受診について

次のような症状があるときはご連絡ください（診察券と母子手帳を手元に）。

- ★お腹の張り（子宮の収縮）や下腹痛があり、安静にしても改善しない
- ★性器出血
- ★破水、または尿もれ感があり破水かどうか分からない
- ★赤ちゃんの動きが普段より少ない、あるいは感じない
- ★陣痛の始まり
- ★体調不良

来院の手順は、状態によっては通常と異なります。お電話でご確認ください。

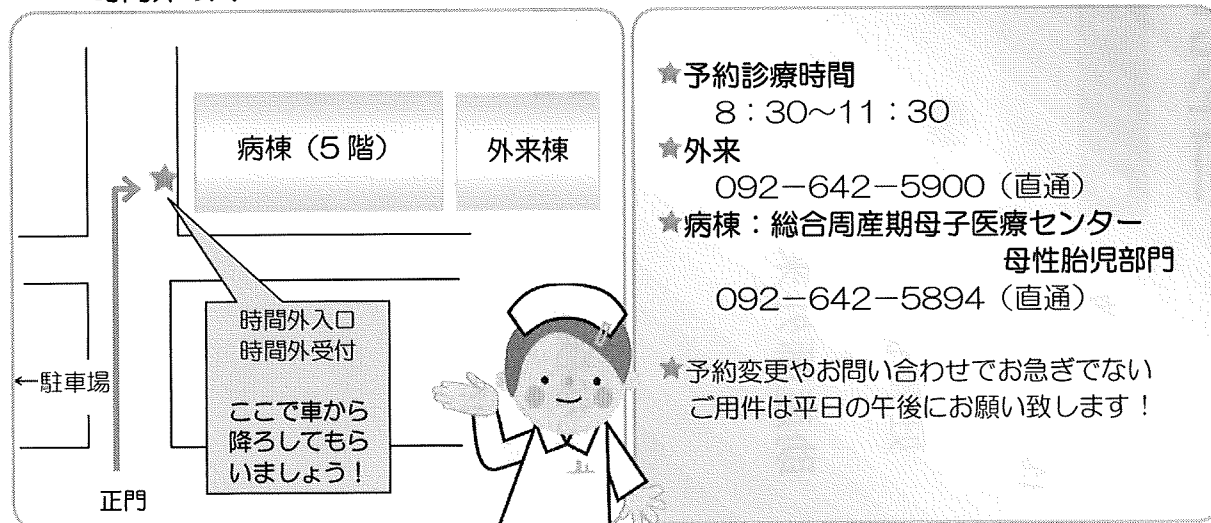
## 夜間・土日祝日の受診について

平日 17 時以降や土日祝日に受診が必要な方は、病棟で診察をおこないます。

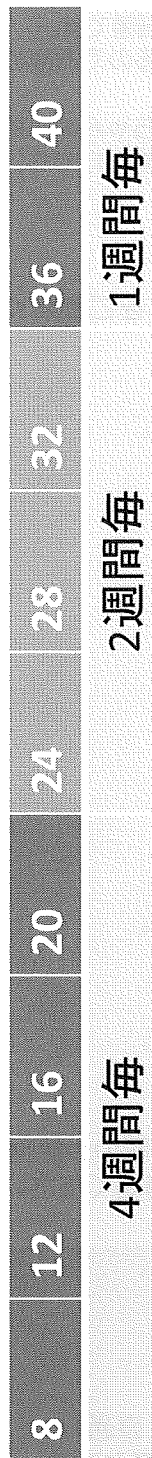
まずは、お電話でご相談ください。

- 順序： ①正門を入れて真っすぐ進み、右手の時間外の入口へ  
②そこで車を降り、入って左の時間外受付で手続き後、南棟の5階の当病棟へ  
\*動けない場合は入口 1 階までお迎えに参りますので再度ご連絡ください

### ★時間外の入口



# 当院における、妊婦健診の流れ



妊娠週数  
(健診間隔)

妊婦健診  
＋  
助産師外来

原則として妊婦健診は医師と助産師が共同して担当し、医師が許可した場合には、24週、37週前後に一回ずつ、助産師外来で健診を受けていただくよう設定しています。医学的に必要な方には保険診療等で適宜受診をしていただくことがあります。またご希望の方には、保健指導を適宜おこなうことができます。  
(個々の事例で受診時期や週数、健診担当は異なります)

主な検査

検尿・血圧測定は  
毎回行います

血液検査  
血糖検査

超音波

血液検査

細菌  
検査

モニター  
超音波

血液検査：貧血の有無などを調べます。検査項目は時期などで異なります  
超音波検査：赤ちゃんの発育や胎盤・羊水などを観察します  
細菌検査：赤ちゃんの通り道に問題となる菌がないかどうか調べます  
モニター：赤ちゃんの元気を確認します。

この記載はあくまでも一般的・標準的な事例のご紹介です。実際には個々の事例で異なりますので、疑問・質問等ある方は医師、助産師、スタッフにお気軽におたずねください

# もくじ

## 妊娠

1. 妊娠カレンダー
2. 妊娠にともなうお母さんの体の変化
3. 妊娠中の生活
4. 妊娠中の栄養と体重コントロール
5. 妊娠中の運動
6. 腹帯
7. 母乳哺育の準備を始めましょう
8. 病院に連絡する症状
9. 妊娠中に注意してほしい異常



## 出産

10. お産の準備
11. 呼吸法と補助動作
12. お産の経過

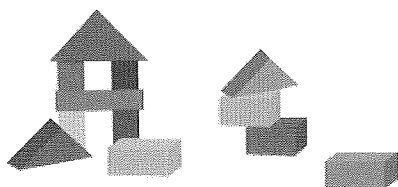
## 入院

13. 入院のご案内
14. 病棟のご紹介
15. 入院中のスケジュール



## お産後

16. お産後の経過
17. 赤ちゃんのからだ
18. 退院後の生活
19. お産後の気分の変化
20. 1ヶ月健診



## その他

21. 当院でのサポート
22. 妊娠・育児・出産の支援体制



## 第1回九州大学病院助産師外来評価委員会 議事次第

日時： 9月17日（木） 午後5時30分より

場所： 南5階病棟カンファレンスルーム

議題：

- 1, 委員会の設置目的、今後の運営方針について
- 2, 委員会構成員（案）について
- 3, 周産期医療整備（助産師外来拡充）について
- 4, 助産師外来における診療（特に基本的妊婦健診）について
- 5, 助産師外来における教育・研究について
- 6, そのほか

資料：

- 1, 委員会の設置目的、今後の運営方針ならびに構成員案
- 2, 周産期医療整備事業（助産師外来拡充、ゆりかごネット）申請書
- 3, 九州大学助産師外来運用の取り決め（案）
- 4, 患者アンケート（倫理委員会申請分）

参考資料：

- 1, 助産外来ガイドライン（平成21年2月、厚労省班会議報告書含）
- 2, 助産外来機能評価表（同上）

1, 委員会の設置目的、今後の運営方針について

1) 委員会の設置目的について (案)

助産師外来における診療について、産科婦人科 (総合周産期母子医療センター)、看護部で業務管理、診療の質、サービス向上、助産師教育の観点から評価を行い、同外来の向上に資する。

2) ゆりかごネットプロジェクトとの連携について

2) 構成員 (案) (下線部は当職とする)

委員長	和氣 徳夫	<u>産科婦人科科長</u>
	加来 恒壽	保健学科教授
	平田 伸子	保健学科教授
	大賀 正一	総合周産期母子医療センター <u>副センター長</u>
	中畑 高子	<u>看護部長</u>
	島ノ江栄子	総合外来看護師長 (元 周産母子センター看護師長)
	諸隈 誠一	<u>産科婦人科医局長</u>
	小川 伸二	<u>産科婦人科外来医長</u>
	日高 庸博	同 助教 ( <u>産科外来前任担当者</u> )
	福嶋恒太郎+*	総合周産期母子医療センター <u>講師 (母性胎児部門)</u>
	山下 春江+*	南5階1病棟 看護師長
	白水 雅子+	南5階1病棟 看護副師長
	荒木 千恵子+	南5階1病棟 看護副師長
	徳田 淳子+	南5階1病棟 助産師 ( <u>助産師外来前任担当者</u> )

\* : 事務局兼任

+ : 準備WGメンバー

WG開催:平成21年6月2日、6月24日、7月10日、8月4日、8月17日、8月26日、9月3日、9月9日、計8回

## 第1回九州大学病院助産師外来評価委員会議事録

日 時： 9月17日（木） 17:30～18:00

場 所： 南棟5階病棟カンファレンスルーム

出席者：和氣徳夫、中畑高子、加来恒壽、平田伸子、大賀正一、諸隈 誠一、福嶋恒太郎  
白水雅子、荒木千恵子、山下春江（欠席者）島ノ江栄子、小川伸二、日高庸博、  
徳田淳子

議 題：

1. 委員会の設置目的、今後の運営方針について
2. 委員会構成員（案）について
3. 周産期医療整備（助産師外来拡充）について
4. 助産師外来における診療（特に基本的妊婦健診）について
5. 助産師外来における教育・研究について
6. その他

資 料：

1. 委員会の設置目的、今後の運営方針ならびに構成員案
2. 周産期医療整備事業（助産師外来拡充、ゆりかごネット）申請書
3. 九州大学助産師外来運用の取り決め（案）
4. 患者アンケート（倫理委員会申請分）

参考資料：

1. 助産外来ガイドライン（平成21年2月、厚労省班会議報告書含）
2. 助産外来機能評価表（同上）

内 容：

1. 委員会の設置目的、今後の運営方針について

### 1) 委員会の設置目的

資料1を元に福嶋医師より、委員会の設置目的について説明があった。

昨年助産師外来を開設し、現在保健指導、乳房ケアを中心に、子どものこころ診療部と連携しながらカウンセリング等も行っている。新外来棟移転に伴って、助産師外来の部屋を確保し、助産師外来で基本的な妊婦健診を開始する予定である。この助産師外来の拡充には、文部科学省から助成を受けており、今後教育、監督、評価が必要である。そのためこの評価委員会を設置し、業務管理、サービス向上、助産師教育の観点から評価を行う。

### 2) ゆりかごネットプロジェクトとの連携について

来週キックオフミーティング開催予定である。このプロジェクトは、教育が中心で、助産師教育の面で、連携して取り組んでいく。

和氣教授、大賀医師より周産期に携わる女性医師だけでなく看護師、助産師の復帰支援を行うことがこのプロジェクトの特色の1つと発言があった。

2. 委員会構成員（案）について

委員長を和氣教授、副委員長を中畑看護部長に依頼し、その他の構成員についても承



認をえた。事務局は福嶋医師、山下看護師長が担当し、準備WGメンバー福嶋、山下、白水、荒木、徳田で計8回WGを開催し、助産師外来運用の取り決め、ガイドライン等を作成した旨の報告があった。

### 3. 周産期医療整備（助産師外来拡充）について

資料2を元に5月に文部科学省の周産期医療環境整備（院内助産所等整備）に申請した経緯及び内容、実施計画について説明があった。当院は、ハイリスク妊婦が多いため院内助産の整備ではなく、診療に必要なサービスの中で助産師が得意なサービスの充実を目的に申請書を提出した。

### 4. 助産師外来における診療（特に基本的妊婦健診）について

準備WGで作成した資料3を元に、助産師外来の取り決め（助産師外来の概要、対象、診療内容、実施体制、管理・指導體制、評価体制）について説明があった。和氣教授より、教育の評価をどのように行っていくか質問があり、九州大学医学部保健学科や九州医療センターの学生の助産師外来での見学・実習人数等で評価していくことになった。

次に助産師による基本的な妊婦健康審査のガイドラインについて資料3を元に対象、受診料、受診時間、担当助産師の条件、受診内容、記録、医師への報告基準、超音波断層装置の使用に関する取り決めについて説明があった。

平田教授より、看護協会では「助産外来」という表記となっているが「助産師外来」の表記で行くのか質問あり。当院は、当面院内助産は考えておらず、助産師が行う外来という位置付けで、現在のところ「助産師外来」の表記とする。今後名称が統一された場合は検討する。

### 5. 助産師外来における教育・研究について

助産師外来の受診者の満足等を調査するアンケートを倫理委員会に提出している。10月の委員会で審査を受ける予定である。助産師や産婦人科医師に対しても助産師外来に対する意識調査を行う予定にしている。

### 6. その他

今回行う調査研究は、福嶋医師が分担研究者となっている厚生労働科学研究の一部となっている。

第2回助産師外来評価委員会は、今年度末に開催予定とする。

文責 山下春江

助産師による妊婦健診を受診した妊婦の満足度及び実態調査

アンケートの記載年月日をお書きください

平成 年 月 日

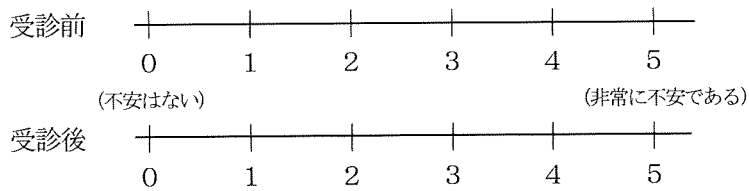
今回のご妊娠と現在のご生活について

1. 現在のあなたのご年齢は？ \_\_\_\_\_ 歳
2. 現在ご結婚されていますか？○を付けて下さい  
( ) 結婚している  
( ) 同居しているパートナーがいる  
( ) 独身である
3. 今回は何回目のご出産ですか？ \_\_\_\_\_ 回目
4. 育児のご経験はありますか？○を付けてください  
( ) 経験あり  
( ) 経験なし
5. 現在の妊娠週数をお教えてください。 妊娠 \_\_\_\_\_ 週 ( \_\_\_\_\_ ヶ月)
6. 妊娠中および出産後サポートして下さるのはどなたですか？○を付けてください  
( ) 夫 ( ) 自分の親 ( ) 夫の親 ( ) 姉妹 ( ) その他
7. 今までに身体的に大きな病気をされたことがありますか？○を付けてください  
( ) あり → 差支えがなければ具体的にお書きください  
( ) なし
8. 今までに精神的な問題や困ったことがありましたか？○を付けてください  
( ) あり → 差支えがなければ具体的にお書きください  
( ) なし

助産師外来受診について

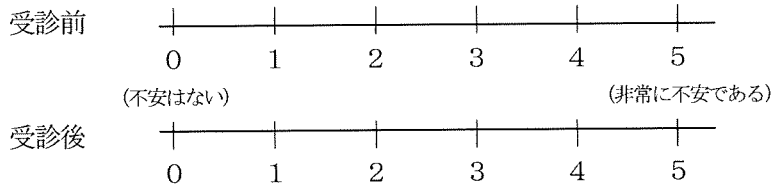
1. 助産師外来を受診して良かったですか？○を付けてください  
( ) 満足している ( ) やや満足している ( ) やや不満である  
( ) 不満である

2. 助産師外来受診前後の妊娠に対する不安度に○を付けてください



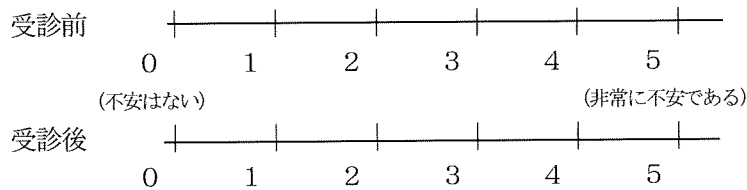
一番不安なことはなんですか？ ( )

3. 助産師外来受診前後の出産に対する不安度に○を付けてください



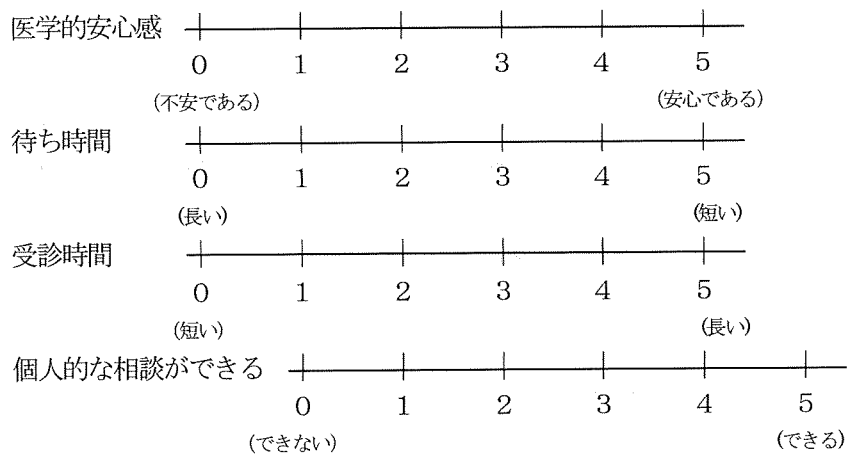
一番不安なことはなんですか？ ( )

4. 助産師外来受診前後の育児に対する不安度に○を付けてください



一番不安なことはなんですか？ ( )

5. 医師による妊婦健診と比べてどのように思いましたか？数字に○を付けてください



6. 助産師外来でどのようなサービスを受けたいですか？ご要望がある方はご記入してください

( )

ご協力ありがとうございました

# めざせ！ 助産師外来開設

46年ぶりの皆既日食で自然の確率のすごさを堪能できた平成21年の夏を迎えました。会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと思います。

このたび、産科を取り巻く環境は様々な問題を抱えているなかで、助産師自身の自立をめざし助産師外来開設に向けた研修会を企画いたしました。この研修は福岡市助産師会・福岡県助産師会勤務助産師部会の共同で、4回コースで受講していただきます。産婦人科医師・開業助産婦・施設助産師から提言をいただき受講者でディスカッションしながら会を進めていきます。超音波研修を盛り込んだ内容で研修の内容上各施設から2名以上の参加をお願いいたします。各施設で問題を改善していき、コース終了時には助産師外来開設の見通しが出来ればと考えています。助産師外来開設に向けて第一歩を踏み出しましょう

コーディネーター 上野恭子

	日時	研修内容	講師
第一回	平成21年 9月5日 時間 10:00～16:00	☞助産師外来開設のためには？ 午前：開設までの問題解決の工夫 (医師との話し合い・病院との交渉 etc) 午後：各施設の現状、問題点を考えよう	浜の町病院 看護師長 上野恭子
第二回	平成21年 10月3日 時間 10:00～16:00	☞医師との協働・技術力・考え方 午前：1. 産婦人科医師と協働への提言 2. 助産師の技術の実際、心構え 午後：1. 施設での工夫・実際 2. 各施設の問題解決の進行状況	産婦人科医師 渡辺良嗣先生 開業助産師「町の産婦さん」 川野敦子 上野恭子
第三回	平成21年 11月7日 時間 10:00～16:00	☞実際超音波診断装置を扱ってみよう 午前：助産師にとって超音波操作の意義 午後：直接、妊婦さんを見てみよう 実技・演習 ※4回目ロールプレイ施設決定 (6施設)	大分県立病院 産婦人科部長 佐藤昌司先生
第四回	平成21年 12月5日 時間 10:00～16:00	☞各施設で行える助産師外来 午前：実際に助産師外来を行ってみよう 妊婦さんを対象にロールプレイ(6施設) 午後：午前発表以外の施設報告・総括	浜の町病院 看護師長 上野恭子